【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成28年4月7日(2016.4.7)

【公開番号】特開2014-128446(P2014-128446A)
【公開日】平成26年7月10日(2014.7.10)
【年通号数】公開・登録公報2014-037
【出願番号】特願2012-288299(P2012-288299)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｆ　13/49　　(2006.01)
Ａ６１Ｆ　13/53　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ４１Ｂ　13/02　　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成28年2月22日(2016.2.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
着用者の身体前側と身体後側とに延びる前後方向と、前記前後方向に直交する幅方向と、前記着用者に向かう内方向及び前記内方向と反対側に向かう外方向を有する厚み方向と、を有し、
前記着用者の股間部に当てられる股下域を有する吸収体を備える吸収性物品であって、
前記吸収体は、第１吸収層を含む第１吸収体と、前記第１吸収体よりも外方向に配置され、第２吸収層を含む第２吸収体と、を備え、
前記第１吸収体には、前記第１吸収体の前記幅方向中心よりも前記幅方向両側において、前記第１吸収層が前記前後方向に沿って外方向に凸に曲がることができるように形成された一対の曲部が形成されており、
前記第２吸収体は、前記曲部よりも幅方向外側に配置された一対のサイド連結部において前記第１吸収体に連結されており、
前記第１吸収層が前記外方向に凸に曲げられた状態で、前記第１吸収体の前記曲部と前記第２吸収体との間に空間が形成されるように構成されており、
前記一対のサイド連結部間における前記第２吸収体の幅方向の長さは、前記一対のサイド連結部間における前記第１吸収体の幅方向の長さよりも長いことを特徴とする、吸収性物品。
【請求項２】
前記第１吸収体は、前記第１吸収層と前記第２吸収体との間に配置された液透過性の液透過性シート、又は前記第１吸収層と前記第２吸収体との間に配置され、かつ前記第１吸収層から前記第２吸収層に向けて液体を導く開口又は切り込みが前記曲部と重なる域に形成された不液透過性シートを有し、
前記第１吸収体は、前記曲部よりも前記幅方向外側に配置され、前記前後方向に伸縮する伸縮性部材を有しており、
前記開口又は前記切り込みの幅方向における中心は、前記幅方向における前記伸縮性部材と前記曲部の中間点よりも幅方向内側に位置する、請求項１に記載の吸収性物品。
【請求項３】
前記第２吸収層は、前記一対の曲部と前記厚み方向において重なって配置されている、

請求項２に記載の吸収性物品。
【請求項４】
前記曲部は、前記前後方向に沿って形成されており、
前記開口又は前記切り込みは、少なくとも前記幅方向に延びる傾斜部を有しており、
前記傾斜部を有する前記開口又は前記切り込みは、前記前後方向に並んで複数形成されている、請求項２又は請求項３に記載の吸収性物品。
【請求項５】
前記第２吸収層は、前記サイド連結部よりも前記幅方向外側に延出して設けられている、請求項１から請求項４のいずれかに記載の吸収性物品。
【請求項６】
前記幅方向における前記サイド連結部間の距離は、後方から前方に向かうにつれて長くなる、請求項１から請求項５のいずれかに記載の吸収性物品。
【請求項７】
前記第１吸収体と前記第２吸収体とは、前記曲部よりも前後方向外側に配置されて前記幅方向に延びる幅連結部と、前記サイド連結部と、において互いに連結されており、
前記サイド連結部と前記幅連結部とは、連なって配置されている、請求項１から請求項６のいずれかに記載の吸収性物品。
【請求項８】
前記第２吸収層の外方向側に配置された第２裏面シートを有し、
前記第２裏面シートは、前記幅方向又は前記前後方向に伸長する伸長性を有し、前記第２吸収層が体液を吸収することによって前記幅方向又は前記前後方向に伸長するように構成されている、請求項１から請求項７のいずれかに記載の吸収性物品。
【請求項９】
前記吸収体を有する吸収性本体と、
前記股下域の前方に配置される前胴回り域及び前記股下域の後方に配置される後胴回り域を有する外装体と、を有し、
前記吸収性本体は、前記股下域を跨ぎ、かつ前記前胴回り域及び前記後胴回り域に跨がって配置される、請求項１から請求項８のいずれかに記載の吸収性物品。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００８８】
（７）変形例３に係る使い捨ておむつ
次いで、変形例３に係る使い捨ておむつについて、説明する。図１５は、変形例３に係る使い捨ておむつを示す断面図（図２のＸ１－Ｘ’１線基準）である。変形例３に係る使い捨ておむつは、実施の形態の使い捨ておむつと、第２吸収体２０の第１折り目ＦＬ１及び第２折り目ＦＬ２の位置が異なっている。